



江戸川区立松江第六中学校



学校だより

令和8年9月2日 第5号

江戸川区立松江第六中学校

校長 小野満 賢

思いを寄せる

校長 小野満 賢

45日間の長い夏休みが明け、9月1日の始業式を迎えました。登校する生徒たちの談笑する声が校長室まで聞こえ、学校に活気が戻ってきたことを実感しています。やはり生徒の姿があってこそその学校です。

始業式の開始5分前に体育館に向かうと、すでに整列を完了し、静かに待つ生徒たちの後ろ姿が見えました。先生方に指導されるまでもなく、「儀式での整列はこれが当たり前」という自信に満ちた本校の生徒たちの姿勢に、私も身の引き締まる思いがしました。「2学期もこの生徒たちのために頑張ろう」という思いを新たにし、背筋を伸ばして体育館に入りました。

この夏休みには、校舎内の廊下や階段の壁や床の塗り替え、そして体育館の床の張り替えが行われました。見違えるほどきれいに、そして明るくなった環境で、いよいよ2学期がスタートします。

今年の夏は、7月に発生した熊本地震や8月に千葉県を中心とした豪雨など、自然災害のニュースに深く胸を痛めました。猛暑が続く中、停電や断水が続き、復旧がなかなか進まなかったり、前日まで普段と変わらない生活を送っていた家が倒壊したり浸水したりしている様子を見て、胸が締め付けられる思いでした。改めて、大切な命を失われた方々に心よりお悔やみ申し上げますとともに、今なお不自由な避難生活を余儀なくされている皆様に、深くお見舞い申し上げます。



生徒たちには始業式で、大変な思いをされている方々に「思いを寄せる」ことの大切さを伝えました。まずはその現状を知ろうとすることから始まって、他人事ではなく被災された方々の大変さや辛さをその立場になって考えることが大切です。そして当たり前の日常がどれほどありがたいものかを改めて実感するとともに、節水や節電など、自分にできる小さな取組を日々の生活の中で実践してほしいと思っています。

この「思いを寄せる」ことは、私たちのすぐ近くにいる友だちや先輩・後輩に対しても同じように大切なことです。学校生活の中で、ほんの少しの不用意な言動が、お互いのすれ違いを生み、トラブルにつながってしまうことは予想できるし、理解もできると思います。自分が発する言葉や行いが相手を傷つけないか、言葉を口にしたり、行動を起こしたりする前に一度立ち止まり、相手の立場や気持ちにしっかりと「思いを寄せる」ことが大切です。被災された方々を思いやる気持ちと同じように、ともに学校生活を送る仲間に対しても、その心のゆとりと温かさを大切にしてほしいと願っています。

さて、2学期は学校生活の中でも特に大きな節目となりますし、行事も多い時期です。10月からは生徒会や委員会の中心が3年生から2年生へと移り、1・2年生にとっては大きな挑戦の場が訪れま



す。さらに10月末の文化祭、そして11月には本校の大きな節目となる創立50周年記念式典など、学校全体で力を合わせる大切な行事が続きます。

2学期を充実したものにするために、生徒たちには2つのことを意識して過ごしてほしいと伝えました。1つ目は「先を見通して動く」ことです。定期考査や行事、部活動の新人戦など、いつ何があるのかを早めに確認し、近くなって慌てることなく、心に余裕をもって動く習慣を身につけていきましょう。2つ目は「計画的に行う」ことです。自分の目標を決めた上で逆算し、「いつから、どのようなペースで進めるか」を考えて実行に移すことが大切です。特に大きな行事と並行して進路に向けた努力を重ねる3年生にとっては、こうした日々の計画的な積み重ねが確かな力へとつながります。

「行事にも自分の進路にも全力を尽くそうとしている」3年生。

「代が替わり不安はあるけれど、多くのことに挑戦しようとしている」1・2年生。

お互いが「今、相手はどんな状況か」を考えることができれば、どのような声掛けや行動がありがたく、嬉しいのかはおのずとわかってくるはずです。思いを寄せ、一人一人がそうした心遣いができる松江六中の生徒であってほしいと願っています。

夏休み中、地域の夏祭りでは、本校の生徒たち（卒業生も含む）が太鼓の演奏や盆踊りなどに積極的に参加して、会場を盛り上げていました。地域の方々からも、たくさんの感謝の声をいただきました。学校を飛び出し、地域を支える若き担い手として頼もしく成長している姿は、私たち教員にとっても大きな誇りです。9月に予定されている「松江南地区町会連合運動会」や10月の「中央・一之江ふるさとまつり」のボランティアなど、これからも地域の活動に積極的に参加し、地域の方々から多くのことを学んでいきます。そして、さまざまな経験をしながら、中学生のエネルギーを地域に還元していきます。



8/23 西一之江原町会

保護者の皆様におかれましては、今学期も子どもたちが高い目標を掲げ、お互いを尊重しながら、ともに成長していけるよう、学校の教育活動へのご理解と温かいご支援を引き続きよろしくお願いいたします。

赤ちゃん和中高生のふれあい体験 7/29(水)・30(木) 共有プラザ一之江

日頃から地域の子育て支援を行っている共有プラザ一之江の企画、「赤ちゃんとの中高生のふれあい体験」に、今年度から本校の生徒も参加させていただくことになりました。二之江中と松江五中の生徒も関わっているので、本校からも1日10名までというお話だったのですが、それを大きく上回る希望があり、最終的に2日間で31名もの生徒が参加しました。

事前に、指導員の方から人形を使って赤ちゃんとの接し方や抱っこ仕方などを教えてもらいました。その上でお母さんやお父さんに抱っこされた赤ちゃんをグループごとに迎え入れます。自己紹介をしたり、子育て真っ最中のお母さんやお父さんのお話を聞いたりした後、一人一人抱っこをさせてもらいました。最初は緊張の面持ちでおそるおそる、という感じでしたが、徐々に穏やかで優しい表情にな

っていきます。自分の腕の中で哺乳瓶のミルクを飲み、安心して眠る赤ちゃんを見ながら、愛おしさや命の大切さを感じるとともに、自分自身も親からこのように愛情を注いでもらったことを思い出し、改めて親への感謝の気持ちが湧いてきたのではないのでしょうか。「お母さんの偉大さが分かった」「赤ちゃんから幸せをもらった」といった感想も聞かれました。お母さんたちからも、多くの中学生に抱っこしてもらって嬉しかったという声も多く聞かれました。

なかなかこういう機会はありません。とても貴重な体験をさせていただきました。関係の皆さん、本当にありがとうございました。



「赤ちゃんとのふれあい体験」参加者（31名）

7 / 29（水）

7 / 30（木）

吹奏楽コンクール 7 / 29（水）練馬文化センター

7月29日(水)練馬文化センター大ホールにて、本校吹奏楽部のコンクール本番がありました。吹奏楽コンクールは、出演者の人数等によって3つの部門に分かれていますが、本校吹奏楽部が出演している部門は35名上限の編成。今年度部員数44名となった本校吹奏楽部は、コンクール出場に向けても、数々の部内オーディションが行われ、その度に切磋琢磨してきました。現2・3年生が今回の演奏曲を決めたのが、遡ること半年以上前。学年が変わる前から行われ続けてきたオーディションに、時には上手くいかずもがき続けたこともありましたが、練習を重ねるごとに技術力を着実に高めていく様子もたくさん見られました。1年生は入部してから数ヶ月ほどで迎えたコンクールであったため、先輩に追いつこうと、何度もオーディションにチャレンジする場面もありました。目指す目標のために尽くしてきた数えきれない努力、それだけに結果が思うようにいかなかったことは、正直様々な思いが募ります。けれども、ここまで積み上げてきたものは無駄にはならないし、このひと夏を通して、目標に対す

それぞれの思いを感じ「思いを一つに」演奏することの大切さを感じたのではないかと思います。今回の吹奏楽コンクールで演奏した「マードックからの最後の手紙」。この曲が出版されてから十数年経ちますが、今では吹奏楽に関わる人や吹奏楽を愛する人にとっては、よく知られた名曲となっています。



この曲を今回演奏するにあたって、嬉しかったことが2つ。一つはコンクール本番の舞台袖。舞台裏側では、コンクールを支える多くの大学生や吹奏楽連盟スタッフが働いていますが、この皆さんが我々の演奏を聴きながら、体を揺さぶりながら、最後までノリノリで演奏を楽しんでくれていたそうです。この話を聞いた時、勿論結果も大事だけれど、「気持ちが伝わる演奏」が届いた瞬間がちゃんとあったのだと、心から嬉しく感じました。そしてもう一つは、遡ることが出来るだけでも松江六中吹奏楽部が過去にこの曲を2回演奏しており、その当時この曲を演奏した多くの先輩に、練習期間に熱く力強いアドバイスやご指導を頂けたことです。「松江六中吹奏楽部で同じ曲を演奏した」という接点だけで、面識がない先輩たちが、現部員のために数多く練習に足を運んでくれたことは、本当に私たちの励みになりました。

そして忘れてはならないのは、今年度もコンクール本番・前日のお披露目会では、多くの松江六中関係者の皆様に演奏を聴いて頂き、暖かい言葉をかけて頂いたことに、改めて感謝しております。これからも私たちの演奏を楽しみに待っていて下さる方々のために、「聴く人の心に届く音楽」を目指して、日々の練習に励んでいきたいと思います。

※2学期には、10/3(土)六中まつり・10/24(土)文化祭・10/25(日)ふるさとまつり（松江五中会場）での演奏を予定しています。

※現時点で地域・保護者の方にもご覧いただけるもののみ掲載。



7/28 お披露目会

第66回 東京都中学生吹奏楽コンクール B組銅賞
(7月29日 練馬文化センター 大ホール)
吹奏楽部メンバー (敬称略)



※コンクール出演者のみ記載をしております

(文責：音楽科・吹奏楽部顧問 浅沼 郁美)

六中生の活躍（令和8年7月～8月）

（敬称略）

男子ソフトテニス部

第 65 回東京都中学校総合体育大会ソフトテニス競技

7/24 団体戦（羽村富士見公園テニスコート）

1 回戦 松江六 0－2 羽村U S C

女子ソフトテニス部

第 65 回東京都中学校総合体育大会ソフトテニス競技

7/20 個人戦（有明テニスコート）

ペア	4－2	中 野	
	2－4	深 沢	2 回戦敗退
ペア	1－4	砧 南	1 回戦敗退



7/23 団体戦（有明テニスコート）

1 回戦 松江六 2－1 伊藤学園

2 回戦 松江六 1－2 実践女子

男子ハンドボール部

第 65 回東京都中学校体育大会ハンドボール競技

7/12（葛西中学校） 松江六 2 1－2 7 平 山

7/19（府中第三中学校） 松江六 2 0－1 9 筑波大付属駒場

7/22（府中市郷土の森総合体育館） 松江六 2 1－2 7 金 町 東京都ベスト 1 6

美術部

令和 8 年度 江戸川区立中学校人物写生コンクール

8/26（葛西中学校）

金賞

銀賞



「学校公開週間・土曜学校公開」

9／3(木)・4(金) 8:45～12:15 (授業公開)

9／5(土) 8:45～12:35 (授業公開)

15:00～16:00 (部活公開)

※時間割や時程等、詳しくは本日配布されたプリントをご確認ください。

※9／5(土)の11:40～12:30は、6年生の保護者対象の新入生保護者説明会が多目的室で行われます。



新学期の松江六中の様子を見に来ませんか？

9月の行事予定

日	曜	行事予定	給食	日	曜	行事予定	給食
9/2	水	教育相談始 給食始	○	18	金	実力テスト(3)	○
3	木	学校公開始	○	19	土		
4	金		○	20	日		
5	土	学校公開終 新入生保護者説明会	○	21	月	敬老の日	
6	日			22	火	国民の休日	
7	月	振替休業日		23	水	秋分の日	
8	火	教育相談終	○	24	木	生徒会役員選挙リハーサル	○
9	水	中間考査一週間前	○	25	金	生徒会役員選挙 英語検定	○
10	木	専門委・中央委	○	26	土		
11	金		○	27	日		
12	土			28	月	全校朝礼	○
13	日	秋季総体始		29	火	3年生 江戸川っ子 study week	○
14	月	生徒会朝礼 安全指導	○	30	水		○
15	火		○	10/1	木		○
16	水	中間考査	○	2	金		○
17	木	中間考査	○	3	土		